

長崎のいろんなことを
気軽に話ませんか？



被爆70周年を迎え、市では、「継承と「発信」をテーマに、市民の皆さんと一緒にさまざまな取り組みを進めていくこと」をしています。

その中で、昨年は、市民の皆さんが考え、実施する企画を募集しました。さまざまなジャンルの提案がありました。そのうち



平和への思いを形で表すことが大切で

■被爆70年目に思うこと
忘れてはならない悲しい出来事が風化しつつあります。今二度、戦争や原爆を世界からなくしたいという思いを、子や孫たちに伝えていかなければならないと痛感しています。
(現川町 N1さん)

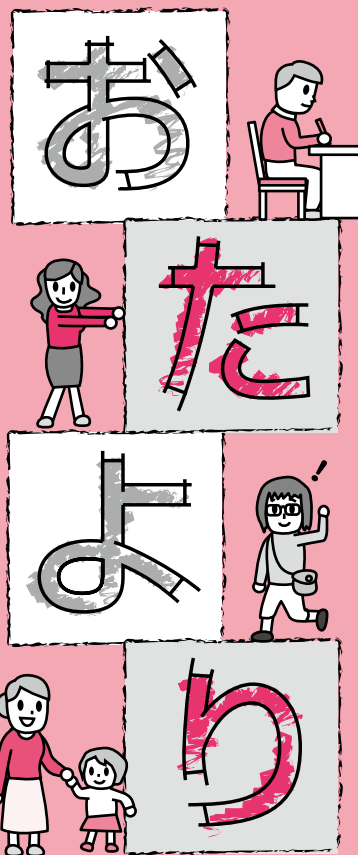
ジャンル	事業名	内容
音楽	平和祈念音楽祭 in 長崎	市民参加の合唱と平和祈念オーケストラによる演奏
	レクイエム・プロジェクト 長崎2015	市内外の参加者による合唱と九州交響楽団による演奏
演劇	演劇「残夏-1945-」	長崎のろうあ者の被爆体験をもとにした作品を、手話や字幕を交えて公演
	演劇「明日」	原爆投下の前日を舞台に、ささやかな暮らしを大切にしていた長崎市民の姿を描いた作品
	オペラ「いのち」	長崎原爆をテーマに、命の尊さや平和の大切さを伝える作品
美術	キッズゲルニカ大会 in ながさき	「世界の平和は子どもから」をテーマに子どもたちが描く超巨大壁画の展示
映像	浦上天主堂再現プロジェクト	新しい映像技術を使って、天主堂の壁面に、被爆直後の天主堂の姿を原寸大に再現
出版	原爆後の70年 ※3月発行	長崎の被爆者援護や平和運動がどのように始まり、広がっていったのかを調査・記録して出版

詳しくは、調査課(☎829-1147)へお尋ねになるか、市ホームページ(「長崎市 70周年」で検索)をご覧ください。

この8件が、市との協働事業として、主に7月から9月に実施されます。

世界平和の実現に熱意を持っている人がたくさんいて、その思いをいろんな形にして表現できるのは、長崎だからできることだと思います。これをきっかけに、市民の皆さんが主体の継続的な活動が広がっていくことを期待しています。

被爆者の高齢化が進む中、被爆都市の思いは次の世代が発信していかなければなりません。自分には何ができるのかを考えるきっかけづくりに、ぜひ、参加してみてください！ (調査課)



このコーナーに掲載する皆さんからのご意見を募集しています。

広報ながさきのご感想やまちづくりについてのご意見をプレゼントクイズのコーナーにお寄せください。

掲載させていただいたかたには、図書カードをプレゼントします。

※お便りは、広報ながさきや市ホームページでの紹介、プレゼントの発送に利用します。

今月のプレゼント

「選りすぐりの特産品は何かですか？」長崎市ブランド振興会の会員が推奨するご覧の商品を今月は、

10名様
にプレゼント!!

お店 **将大**

商品 **俺んちのごまドレッシングセット (ゆうこう果汁入り)**



県内産素材にこだわった商品が魅力の「将大」。このたび新登場のごまドレッシングと、長崎特産の柑橘「ゆうこう」果汁が入ったごまドレッシングをセットでプレゼント！風味豊かなごまの香りとともに、ゆうこうの爽やかな後味がお口いっぱいに広がる一品です！

問 畝刈町1613-89 ☎814-1310

ホームページ 検索

表紙の話



「子どもは風の子」とは、まさにこの子たちのこと。「ここにこ、はきはき、どんどん、北陽っ子」をテーマに元気いっぱいに撮影に臨んでくれました！

特集

市政

長崎市民

「ご意見」
プレゼント

生活情報

健康

子育て

福祉

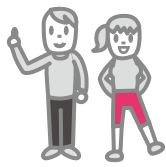
税

講演・講座

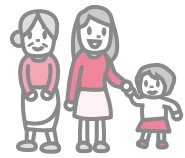
もよおし

おしらせ

募集



さまざまなご意見をお待ちしています。



また、サロンには行けなくても、一人暮らしのお年寄りやお年寄りだけの世帯に、地域の民生委員が月1〜2回訪問して、相談を受けたり、助言を行った



サロンに参加してみませんか?

高齢になっても安心して暮らしていくためには、社会や地域とのつながりを持ち続けることが大切です。市では、地域のひととの交流の機会を作ったり、見守ったりして、お年寄りが地域の中で孤立することなく、いきいきと暮らせるための取り組みを行っています。

例えば、お年寄りが気軽に集い、健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりを行うため、市内33カ所に開設している、高齢者ふれあいサロンもその一つです。公民館などの身近な場所でも、フリーセッションや軽い体操、小物づくりなど、いろいろな楽しいメニューを行っています。ごなたでも、無料で参加できます。高齢者すこやか支援課にお尋ねいただければ、お近くのサロンをご案内します。

孤立するのが不安です
年を取って近所づきあいが減ったせいか、周りにいるような情報を教えてくれる人、話しかけてくれる人が少なくて困ります。
(大手2丁目 Y.Mさん)

消毒液の作り方

ここでは、市販の“家庭用塩素系漂白剤”を使った作り方を紹介します。日常の消毒には薄く、嘔吐物などの付いた物や床の消毒には濃く作ったものを使うことをおすすめします。

【準備するもの】

- ・家庭用塩素系漂白剤（“次亜塩素酸ナトリウム”を含み、濃度が約5%のもの）
- ・きれいに洗ったペットボトル ・水

※ 薄く作るときは2ℓ、濃く作るときは500mlのペットボトルと水で作ります。



【作り方】

- ① ペットボトルに約10ml（ペットボトルのキャップ2杯分）の漂白剤を入れる
- ② 2ℓ（500ml）になるまで水を加える
- ③ キャップを閉め、振ってよく混ぜれば完成

【使用上の注意!!】

手袋を着用し、手洗いには使わない／酸と一緒に使わない（有毒ガスが発生）／消毒後は水洗いか水拭き／カーペットや壁紙は変色する恐れがある／間違えて飲まないよう保管



食中毒は、夏場だけに起こるものではありません。秋から冬にかけても、ウイルスによる食中毒が発生しやすく、その代表的なものがノロウイルスです。感染力が強く、嘔吐・下痢発熱などの症状が見られます。

感染経路は、ウイルスの付いた食べ物や食器を食べて感染する、食中毒ルート。

などを行って、二次感染を防ぎましょう。
(生活衛生課・地域保健課)

冬場の食中毒にご注意を!
今の時期は、油断しがちですが、意外と多いので、注意したいと思います。
(秋月町 Y.Aさん)

りする、友愛訪問を行っています。生活や健康についての不安や困りごととは、一人で悩まずに、気軽に高齢者すこやか支援課(☎829-1146)までご連絡ください。
(高齢者すこやか支援課)

と、感染した人の嘔吐物などを処理するときに、手や指にウイルスが付き、それが口に入り感染する、感染症ルートがあります。
* * *
予防のポイントとは、
・調理や食事の前、トイレの後、帰宅時などは、石けんで手をよく洗う
・調理するときは、85〜90℃で90秒以上、中心部まで十分加熱する
・調理器具などは、洗剤でよく洗った後、塩素消毒か加熱消毒で殺菌する
もし、感染してしまったら、
・嘔吐物などの処理には、手袋・マスクなどを着用し、使用後は、ビニール袋に入れ、密封して廃棄する
・家族が手を触れる可能性のある場所や物は消毒する

問題

長崎のまちを元気にする働き盛りの人を紹介！
今月からの新コーナーは？(ヒント、12ページ)

答え

「輝く○○人」

応募方法・応募先

①○○に入る答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙に対するお便りなどを必ず書いて、はがきかホームページで応募してください。抽選で右欄のプレゼントを差し上げます。締め切りは2月28日(土)消印有効です。たくさんのご応募お待ちしております。

**【はがき】〒850-8685 桜町2-22
長崎市広報広聴課「広報ながさき」プレゼント係
【ホームページ】トップページ「市民参加」の「プレゼントクイズ」**

発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。プレゼントは、商品を提供していただくお店から発送します。お便りは、広報ながさきや市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月のクイズ

【1月号の答え】
野母崎海の健康村

※12月号には82通のお便りをいただきました。ありがとうございました。